

# 麻生すこやか通信



理事長  
齋藤 久泰

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
日本脳卒中学会認定専門医・指導医  
日本脳卒中の外科学会技術認定医  
北海道大学客員研究員

地域とともに歩んだ40年、

そしてこれからの麻生

心より感謝申し上げます。病気に対する理解が深まり、疾病予防や早期治療につながる機会となりましたら大変嬉しく思います。

当院は開設以来、脳神経外科専門病院として救急医療と高度医療を実践して参りました。脳卒中、脳腫瘍、脊髄疾患、末梢神経疾患、リハビリーションなど各分野のスペシャリストが在籍しており、北海道大学病院のご協力も得ながら最善の医療提供を心がけております。また、最新の医療機器の導入も随時行っております。特に北海道で最初にMRIを導入した病院として、画像診断機器には力を入れて参りました。昨年末には、当院で保有する4台のMRIのうち、1台をGE社製の最新機種に更新いたしました。AI(人工知能)で用いられているディープラーニング技術を搭載した機種で、高画質化と撮像時間の短縮が可能となりました。これにより診断能力が向上し、同時に患者さまの待ち時間が短くなることも期待できます。2月にはもう1台の機種更新を予定しています。

この40年で時代は大きく変わり、医療も目覚ましい進歩を遂げましたが、これからも当院は開設時と変わらず「患者さま第一」の理念の下、地域に寄り添い、皆さまから信頼される病院であるよう努力して参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと存じます。当院は昨年、おかげさまで開設40周年の節目を迎えることができました。これまで支えて下さった地域の皆さんに、深く御礼申し上げます。

昨年は40周年を機に新たな病院ロゴを作成しました。当院のイニシャル「A」と人のシルエットを組み合わせたデザインで、「患者さまが病気から回復される」イメージが込められています。また、ホームページの大幅なリニューアルも行いました。診療内容や受診の流れなどが、以前より見やすくご覧いただけると思います。10月には市内ホテルで市民公開講座を開催しました。脳卒中、くも膜下出血、脳腫瘍、腰痛と手足のしびれ、リハビリといった5つのテーマに絞り、それぞれの専門医よりお話しさせていただきました。100名を超える方にご参加いただきましたことを

TOPIC

## 当院の飛驒院長が 札幌市医師会賞を受賞しました

2025年11月15日(土)に札幌パークホテルで行われた、札幌市医師会78周年記念式典において、当院の飛驒院長が札幌市医師会賞【学術研究功労】を受賞しました。この賞は、多忙な診療に従事する傍ら、多年に渡り脊椎・脊髄疾患、とりわけ脊髄腫瘍や脊髄空洞症などに関する臨床研究に精力的に取り組み、その研究成果を国内外に広く発表するとともに、学会活動を通じ指導医として教育・研究の指導をするなど、これまでの永年にわたる飛驒院長の功績が認められ表彰されました。この度の受賞おめでとうございます。

### 看護部長就任にあたりまして ご挨拶

看護部長 浅元 美津子

皆さま、こんにちは。日頃より当院の医療・看護にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。昨年看護部長を拝命いたしました浅元美津子と申します。2025年は当院が開院して40周年を迎えた節目の年でしたが、奇しくもこの時期に重責を担うこととなり、身の引き締まる思いであります。

これまでの40年、医療制度や地域の環境は大きく変化してきました。その中で当院は脳神経外科の専門病院として、札幌市東区において地域医療の中核を担い、「患者さま第一」を信条に高度な医療と質の高い看護の提供に努めてまいりました。今日の歩みがあるのは、地域の皆さま、ならびに医療機関の皆さまの温かいご支援の賜物です。これからも脳神経外科領域の専門性を活かし、地域特性やニーズに寄り添いながら、より良い医療・看護サービスの提供に力を尽くしてまいります。

当院看護部は、「人間が本来もっている健康回復への力が最大限発揮されるように患者の身体状況や生活環境を整え、生命を護り、その生活を支援する『生活支援者』として社会に貢献していく。」という看護活動の基本理念を大切に、安全で安心できる看護の提供に努めています。スタッフが支え合い、学び続けられる職場づくりをめざしながら、医療や地域の変化に応えら



れる体制整備も進めています。さらに、最新技術の導入やICTの活用にも挑戦し、より専門性の高い看護をお届けできるよう努めていきたいと考えております。

ただどれほど時代が変わっても、患者さまの思いに寄り添い続ける姿勢は変わりません。多職種との連携も深めながら、地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、“生活支援者として人生を支える看護”を追求し続けてまいります。さらに、40年の歴史の中で育まれてきた麻生の「あきらめない看護」を継承し、地域に貢献できる看護職の育成にも力を入れてまいります。これからも、患者さまにも医療機関の皆さんにも「麻生に来てよかった」と感じていただける病院であり続けられるよう、看護部一丸となり精進してまいります。引き続きご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 先進リハビリテーション機器のご紹介

患者さまに良質なリハビリテーションを提供できるよう、各種リハビリテーション機器を取り揃えており、先進リハビリテーションを提供しております。

## ウェルウォーク

麻痺や歩行状態に合わせて細やかに難易度調整が可能であり、早期から自然な歩容での多数歩歩行練習を提供する歩行支援ロボットです。



## Mixed Reality(複合現実)機器 リハまる

現実空間と仮想空間を組み合わせた治療を提供することができる機器です。どこを見ているのか、視線の評価も可能です。



## 拡散型ショックウェーブインテレクトRPW

脳血管疾患や脊髄障害による痙攣の治療などに活用しております。



## 新任ドクターご紹介

Doctor Introduction



医師 高宮 宗一朗

2025年10月から赴任いたしました、高宮宗一朗と申します。2013年～2014年にも当院で勤務しておりました。専攻医として勤務していた当時から比べると、脳神経外科専門医・指導医、脊髄外科指導医、脳血管内治療専門医など、専門性を増して戻ってくることができたと思います。まだまだ至らない点もあると思いますが、患者さまやご家族のお役に立てるよう、全力で診療してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2012年北海道大学医学部卒業。北海道大学脳神経外科入局。北海道大学大学院博士課程で学位を取得。北大病院および関連病院において臨床研修を行い、札幌麻生脳神経外科病院、手稲渓仁会病院、柏葉脳神経外科病院、北海道大学病院、小樽市立病院に勤務。2023年よりカナダのUniversity Health Network、Krembil Research Instituteに留学。2025年10月より当院へ勤務。日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本脊髄外科学会認定医・指導医、脊椎脊髄外科専門医



りん ていきん  
医師 林 鼎鈞

2025年10月から赴任しました林鼎鈞(リン・テイキン)と申します。台湾の台南市出身です。台北医学大学を卒業し、台湾では神経内科医として働いていました。

2022年に日本へ来て、現在は脳神経外科で学んでいます。当院では、主に救急外来と入院中の患者さまの診療を担当しています。まだ学ぶことが多く、至らない点もあるかもしれません、患者さまやご家族の皆さんに、丁寧で安心できる医療を提供できるよう努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2006年台湾私立台北医学大学医学部卒業。東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻修士課程、台湾国立台湾大学臨床医学研究所医学博士課程で学位を取得。台湾林口長庚病院、台湾台北医学大学付属病院勤務を経て、2024年北海道大学病院、手稲渓仁会病院に勤務。2025年10月より当院へ勤務。

## Public Lectures

# 市民公開講座 開催しました

2025年10月11日(土)に  
当院の市民公開講座を  
京王プラザホテル札幌で開催しました。

### 講演内容

#### 講演 1 脳卒中ってどんな病気?

脳血管内治療センター長 下田 純介 医師

#### 講演 2 くも膜下出血にならないために

副院長 / 脳卒中センター長 中村 俊孝 医師

#### 講演 3 脳腫瘍と診断されても慌てないで

脳腫瘍センター長 茂木 洋晃 医師

#### 講演 4 腰痛・手足の痛みでお困りの方へ

機能外科センター長 笹森 徹 医師

#### 講演 5 最新機器を用いた脳神経外科のリハビリ

リハビリセンター長 安彦 かがり 医師

2025年度  
札幌麻生脳神経外科病院 市民公開講座

ご聴講 ありがとうございました!



当院の医師5名が講師となり、各専門分野の病気や症状、リハビリなどについての講演を行いました。講演の最後には参加者の方々からの質問の時間を設け、皆様の疑問・質問にもお答えしました。それ以外にも、会場には当院の各部署で作成した診療等に関する様々なポスターの展示や、お持ち帰り用のパンフレット等もご用意しました。今後も定期的にこのような場を設けていけたらと考えておりますので、その際も、是非、皆様のご参加をお待ちしております。

### ① 診療受付時間

月～金 午前 8:45～午後 4:00  
土 午前 8:45～午前 11:00

※お休みはございません

休診：日曜日・祝日・年末年始 (12/30～1/3)

医療法人  
**札幌麻生脳神経外科病院**  
SAPPORO AZABU NEUROSURGICAL HOSPITAL

〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40  
TEL 011-731-2321(代表) FAX 011-731-0559  
ホームページ <https://www.azabunougeka.or.jp>

### 交通アクセス

- 地下鉄:南北線 北24条駅下車  
(2番・3番出口から徒歩約7分)
- 中央バス:「北21東1」下車、徒歩約2分
- 中央バス:「北24東1」下車、徒歩約2分



当院への  
バス路線  
**中央バス**  
屯田線 02・篠路駅前団地線 36・元町線 東70  
花川南団地線 09 14・花畔団地線 16  
31(石狩庁舎)・トーメン団地線・厚田線



※お間違いないようご注意ください

- 往路と復路とで停留所の異なる路線があります。  
花川南団地線 14・花畔団地線 16・31(石狩庁舎)・トーメン団地線・厚田線
- バス停「北24条東1丁目」は旧石狩街道・宮の森北24条通の2カ所あります。